

式辞

うららかな春の日差しを浴びて、校内の木々の芽も日に日に膨らみを増している今日のよき日、保護者の皆様の御臨席を賜り、熊本県立玉名高等学校 第七十四回 卒業証書授与式を挙行できますことは、大きな喜びであり、心より感謝申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与いたしました、全日制課程二百二十三名、定時制課程 八名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。玉名高校での生活はいかがでしたか。長いようで、あっという間の高校生活だったのでないでしょうか。

この玉名高校で過ごした皆さんを、常に成長へと導いたのが、校訓の、「至誠・剛健・進取」だと思います。至誠とは、「人としての正しい生き方をわきまえ、自分がなすべきことを全うする人となれ」ということ、剛健とは、「物事に屈しない強く確かな意志を持ち、ゆるぎない信念に燃える人となれ」ということ、そして、進取とは、「新しいことに進んで挑戦し、率先して模範を示す気概のある人となれ」ということです。

「誠実で芯がしっかりした努力家」というのが、玉高で学んだ者の理想の姿です。高校を卒業した後も、この校訓の精神を具現化するよう努力を続けてほしいと思います。

入学以来、皆さんは、伝統ある玉名高校の生徒として、多くの仲間とともに勉強や部活動に励み、自らの心身を練り、友情を育んでこられました。日々の練習や創作活動、研究活動にも熱心に取り組み、各種大会やコンクールなどにも出場し、優秀な成績もおさめてきました。しかし、昨年度と今年度の二年間、新型コロナウイルスの感染拡大により、非日常的な生活を強いられる毎日が続きました。中止や延期、縮小となつた行事や大会も多く、高校時代の貴重な体験がコロナに振り回されたことは、まことに残念なことでした。経済的にも社会的にも、日常生活が立ちいかなくなる現実を私たちは目の当たりにしてきました。先の見えない大きな不安は、誰しもが受け止めていることでしょう。今までの価値観にとられずに、新しい方法、新しい思考、新しい現実に向けた取り組みもまた、試行錯誤しながらそれぞれの分野で知恵を出し合ってい

かなくてはなりません。

休校が続いたり、学校行事が延期・縮小・中止になる中、皆さんが意欲的に取り組んでくれたこともたくさんありました。「明けない夜はない」と希望を持ち、変化を恐れず成長をし続けることが、未来を切り拓くことにつながります。不確実な世の中だからこそ、自分自身をしっかり持って、前向きに生きてもらいたいと思います。

さて、卒業にあたり、私の心に残っているお話を一つ紹介して、皆さんへのはなむけにしたいと思います。今年一月、アメリカアップル社の株価の時価総額が一時初めて三兆ドル、日本円にして三百四十兆円を上回ったというニュースが流れました。そのアップルの共同創業者であるステイブ・ジョブズ氏が、かつてこのような言葉を残しています。

「十七歳の時にこんな名言に出会ったよ。『毎日を人生最後の日のように生きれば、間違いなく最高の人生が送れる』という名言にね。それ以来、僕は毎朝鏡を見ては自分に問いかけたんだ。『もし、今日が人生最後の日だとしたら、今やろうとしていることは本当

に自分のやりたいことなのかい？』って。そして、その答えがNOであるなら、何かを変えなきゃいけないと考えたんだ。」

我々に与えられた「時間」には、限りがあります。昨日のように今日があり、今日のように明日があると考え、漫然と日々を過ごしては時間の浪費です。一度きりの人生。後悔しないよう、その時その時を精一杯生きてほしいと思います。

お別れにあたって、私から最後の教訓を述べます。高校を卒業すると、もはや「生徒」ではなくなります。

「学生」になるにせよ、「社会人」になるにせよ、「自立」が求められる立場になります。自分自身が、主体的、能動的、積極的に行動しなければなりません。進学する人も就職する人も、自分から進んで学ぼうという姿勢を持たないと成長はありえません。時間はまたたく間に過ぎ去ります。「自分の夢、将来の目標のために、今何を行うべきか」を常に考え、積極的に行動してください。校訓の「進取」の精神を忘れないようお願いします。

君たちの健闘を祈ります。

最後になりましたが、保護者の皆様には、今日まで学校への御支援御協力をいただき、ありがとうございました。そして、お子様の人生にとって貴重な高校時代を玉名高校にお預けいただき、本当にありがとうございます。ございました。コロナ感染や自然災害などで不測の事態も多く、御家庭の苦労も多かったことと思います。本日をもってお子様は玉名高校を巣立っていきますが、この玉名高校で築いた、教え子と恩師の絆、玉名高校を母校とする同窓の絆は、これからもずっと続いていきます。今後も保護者OBとして玉名高校の発展に御支援御協力を賜れば幸いです。創立百二十周年をまじかに控える本校は、歴史と伝統を重んじ、先人の威徳に学びつつ未来を切り拓く人材の育成に努めるとともに、地域に開かれた、地域に信頼される学校づくりをこれからも続けてまいりる所存ですので、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

それでは、卒業生の皆さん、いよいよ門出の時がきました。今日からは玉名高校が皆さんの母校です。巣立ちゆく皆さん一人一人の前途が、健やかで幸多きものであることを心から願ひ、式辞といたします。

令和四年 三月一日

熊本県立玉名高等学校長

西澤 頼孝